

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)													
ET451014		保健体育科指導法演習(Seminar in Introduction Method of Health and Physical Education)					教科実践													
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
選択	2	1	大学院教育学 研究科			氏名 住田 実 E-mail sumita@oita-u.ac.jp 内線 7626														
授業の概要	本授業のねらいは、健康をめぐる教育あり方について、具体的な事例や映像をもとに自由なディスカッションをとおりて学びを深めることにある。内容としては、保健体育科における保健教育のみならず、広く教育現場における健康や食、性と生、環境をめぐる内容について興味深い映像教育や実物も含めた指導方法について考究する。従って、保健体育教育のみならず、食や心、性と生の問題も扱うことから家庭科教育、総合的な学習、道徳とも関連する。そこでオリエンテーションにおいて受講生の興味・関心のあるテーマを確認したうえで授業内容を構成する。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	学校における健康教育(健康と福祉、家族・性・社会・いのちと人権)をめぐる現代的な課題について関心をもち知識を得る。																			
目標2	授業で扱う「教育と健康」をめぐるテーマについてグループディスカッションやディベートを通して多様な視点や思考力を養う。																			
目標3	生涯にわたって「教育と健康」の問題について関心をもち続けることができる。																			
目標4																				
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1 オリエンテーション(授業の進行をめぐって、受講生の興味・関心のあるテーマを確認する)																				
2 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(1)運動と健康																				
3 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(2)スポーツとドーピングを考える																				
4 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(3)女性のスポーツと健康管理																				
5 ディスカッション(授業で扱った話題について)																				
6 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(4)性と人権をめぐる課題																				
7 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(5)学校におけるLGBTの課題																				
8 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(6)LGBTと社会の課題																				
9 ディスカッション(授業で扱った話題について)																				
10 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(7)食生活と健康を考える																				
11 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(8)睡眠と健康を考える																				
12 映像視聴とケーススタディによる健康教育の課題(9)食と生活リズムを考える																				
13 ディスカッション(授業で扱った話題について)																				
14 ケーススタディを通じた健康教育の改善(1)「睡眠・生活リズムと健康」をめぐる指導内容と展開方法																				
15 ケーススタディを通じた健康教育の改善(2)「病気の予防」をめぐる指導内容と展開方法																				
ラーニング	A:知識の定着・確認	シネマ、ドキュメント映像を媒体とした視聴覚教育				工夫 その 他の														
	B:意見の表現・交換	ケーススタディにおけるディスカッションによる意見交換																		
	C:応用志向	グループディスカッションによる課題解決に向けた討議																		
	D:知識の活用・創造																			
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	シラバスで示している授業内容について、インターネットを使って事前学習をする。																		
	事後 学修	授業で扱った学習内容や関連する周辺テーマについて、文献、新聞、インターネット等を使って自己学習を深める。																		
教科書	教材資料は授業の中で配布する。																			
参考書	授業の中で紹介する。																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10								
	小レポートの評価	10%																		
	グループディスカッションによる成果の発表	20%																		
	課題レポート	70%																		
注意事項	授業内容については、受講生の興味・関心を尊重しながら取り扱う領域や内容を決定する。																			
備考																				
リンク	URL																			